

透析業務に関する文章管理方法の構築

東京女子医科大学 臨床工学部 血液浄化療法科¹ 臨床工学科²

○田中成子（ナカ ナリコ） 山田祐史 尾原英利 鈴木雄太 吉田智史 内田浩文 菅原智子
嶋口理愛 加藤紀子 村上 淳 金子岩和 木全直樹¹ 峰島三千男² 秋葉 隆¹

【目的】

透析療法において、治療の安全性の向上や業務の効率化を図るに当たり、情報伝達に多くの文章が用いられるため、何時でもそれらを速やかに参照できる環境が必要である。そこで透析業務に関わる様々なルールや手順などを含む文章全般を検索し、管理するシステムを構築したので報告する。

【方法】

文章の管理方法として「自動管理」と「手動管理」を併用した。「自動管理」とはメールで送った文章、添付ファイルを検索の対象とするシステムである。具体的には、メールで特定のアドレスに配信されたもののタイトル、本文、添付ファイルの内容を自動的に保存し、これを検索するシステムを VisualBasic で作成した。「手動管理」とは、この検索システムを用いて、自動保存された文章中に含まれる項目から各種マニュアル等に反映すべき事項を抽出し、必要があれば担当者が要約などを行い、各種マニュアルを作成または随時改訂する作業をいう。

【結果】

会議録や業務マニュアルをメールで伝達する事により、ほぼ全ての透析業務に必要な情報を検索システムの対象とでき、必要時に必要事項を速やかに参照することが可能になった。

【結語】

大量の文章から必要事項を簡単に参照できるシステムを構築することは、感染対策を行う際や、各種マニュアルの作成、改訂時などに有用であると思われた。